

## 巻頭言

名古屋学芸大学 学長  
井形昭弘

### 発刊に当たって

今回「名古屋栄養科学雑誌」を新たに発刊することになりましたが、本学にとって誠に光栄なことで心より嬉しく思っています。

本学は2002年に発足し順調に発展してきましたが、その中核を成してきたのが管理栄養学部です。未来を視野に、優れた管理栄養士の養成を果たし、栄養科学の実践、研究に取り組み、高い評価を得てきました。

大学の使命は教育と研究です。教育の面では、国家試験の高い合格率に象徴されるように幅広い人材を育成し、質の高い職能教育を達成してきましたが、研究の面でも併設の健康栄養研究所と連動して多くの研究業績を世に問うてきました。

今回、改めてその研究成果を世に問うとともに、健康科学研究の国際的展開を念頭に「名古屋栄養科学雑誌」を創刊することになりました。

本誌は学部紀要の役割を果たしていますが、日本の栄養科学研究の進歩を世界に発信することを目指しており、気宇壮大な誌名を付けさせていただきました。

わが国の栄養科学は、古くは脚気の撲滅という輝かしい成果を挙げ、戦後は栄養失調、そして少子高齢社会時代には健康づくりをテーマに大きく展開、日本の長寿世界一達成に大きく寄与してきました。特に健康づくりの柱としての栄養科学は高く評価され、2000年に導入された介護保険にも介護予防の柱に取り入れられ、未来長寿社会を支える力強い成果を挙げてきました。

また、わが国の伝統的な和食は健康食として世界から大きな注目を受け、世界文化遺産に登録され、世界から大きな関心を集めています。

これらの背景から本誌が今後発信する研究成果が社会的に大きな役割を果たすことを期待し、時代の流れとともにわが国のみならず未来国際社会へも大きなインパクトを与えるであろうことを信じて疑いません。

以上、本誌の発刊のご挨拶に代えさせていただきます。

---

## **Preface**

**President, Nagoya University of Arts and Sciences**  
**Akihiro Igata**

### **To celebrate the new publication of Nagoya Journal of Nutritional Sciences**

I am much pleased to publish the new Nagoya Journal of Nutritional Sciences.

The nutritional science in Japan has long history, starting from the control of Beriberi, which was the nation-ruining disease of Japan.

After the Second World War, the malnutrition due to the food crisis was its main target. To achieve the longest life expectancy in Japan, our nutritional sciences has greatly contributed.

Now, nutritional sciences in Japan are playing a very important role in the health promotion from children to the aged, along with the prevention and treatment of any diseases.

Thus, the nutritional sciences will play the indispensable role toward the future-society. This new journal is not only the annual report of our university in this field but will send widely the active progress in this field to the world.

I am confident that this will be surely accepted widely in this field toward the next generation.

Viewing these backgrounds above mentioned, I deeply hope that this new journal will indicate the direction to the happy and healthy future society.